

医務室よりお知らせ



例年、12月から2月にかけてインフルエンザが流行します。

この時期は後期試験と重なる他、大阪学舎では1年生の保育実習があります。伊丹学舎では、卒業制作展・卒業公演・卒業ライブなどの行事と、その準備に重なる大切な期間でもあります。

インフルエンザは、ワクチンの接種によって、高い確率で感染を予防できる疾患です。また、罹患しても軽症で治まります。

2015年～4種混合ワクチンとなり、インフルエンザのタイプをほぼ網羅できるようになり、予防効果の増大が期待できます。価格は医療機関によって異なりますが、昨年の1.5倍程度です。更にウイルス薬に耐性を持ったインフルエンザウイルスが出現してきています。そのような意味からも、流行シーズンに入る前に積極的なワクチン接種を推奨します。

ワクチンを接種してから抗体ができ、予防効果が発現するまでには、およそ2～3週間かかります。

インフルエンザのワクチン接種は、医療機関や地域の保健センター等で実施しています。ワクチンの準備のため予約を必要とする場合もありますので、前もって医療機関に問い合わせ、体調を整え受けるようにしましょう。大学周辺の医療機関を希望の方は医務室まで問い合わせてください。

2015年10月16日

